

西中の風

継続と徹底

伊丹市立西中学校長

大西 規之

掃除から気づくこと(Ⅱ)

西中の風第24号からの続きです。「掃除から気づくこと」について書きます。

③成果が出ないとやる気がでない

校門からスタートし、長い時間かけて一通り落ち葉を掃き集め、校門のところへ戻ってくると、またたくさんの落ち葉が落ちていることがよくあります。「さっき掃いてきれいにしたのに・・・」と、その光景を見て愕然とします。全く達成感がありません。次の朝に掃除をする意欲すらなくなってしまいます。でもやらなければならないのでやるのですが・・・このことで、ある程度努力した後には、成果がなければやる気が失せるということを経験します。みなさんの勉強もそうでしょう。「今回のテストは勉強したのに点数がとれなかった」などの話はよく聞くことです。こうなると「よし、次の試験も頑張るぞ」という意欲が出てきません。部活動での「必死で練習したのに負けてしまった」も同じことが言えるでしょう。では、どうすればいいのでしょうか。必死に努力して良い結果を出す経験を1度でもしてみることです。どの教科でもいいです。授業を集中して聞き、いつもより早めに試験勉強に取りかかり、他の教科よりも一生懸命に勉強するのはいいことです。その成果が達成感となり、次への意欲や他教科への学習につながると思います。ぜひ試してください。

④人のためにすること

最初に掃除を始めたのは、「落ち葉が多くてきたない」という思いからでした。落ち葉が落ちていると風情があつてきれいだと言う人もいますが・・・掃除をしているとしんどいけれども良いこともあります。1つめは、結構いい運動になるということです。掃除をしていると夏場は汗だくになり、冬場でも温かくなります。目覚ましの運動であり、「これから1日頑張るぞ」と気合いを入れる運動でもあ

ります。2つめは、掃除をしてきれいになると心もすがすがしくなります。達成感が生まれ、その後登校してくる生徒のみなさんに校門で「おはようございます」と挨拶する声にも元気が出てきます。最初は「きれいにしたいから」と始めた掃除も、掃除をしている内に気持ちがだんだん変化していききました。「生徒のみなさんが気持ちよく登校できるようにきれいにしよう」とか「きれいにしておけば生徒のみなさんの心も安定し、いじめの無い楽しい学校生活を送ってもらえる」などの気持ちへ変化してきたことに気づきました。つまり、運動になるとか心がすがすがしくなるといった自分のため(自己満足)にではなく、人(生徒のみなさん)のために掃除をするという気持ちです。よく一流シェフが「お客様がおいしそうに食べている姿を見たり、お客様から『おいしかった』という一言をもらったりするために料理を作っています」とコメントしているのをよく聞きますが、まさにその「人のために」という心境です。その気持ちが私に、掃除を続けさせ、「きれいにするぞ」という行動を起こさせているのだと思います。みなさんも、自分のことはもちろん、人のためにも行動できる人になってほしいものです。自分に厳しく、人に優しい、素晴らしい人になれると思います。



ホームページを適宜更新中！！